

参考資料 ～松戸市について～

概要となります。企画提案の際の参考にしてください。

◎松戸市について

松戸市では、スローガン「やさシティ、まつど。」を掲げ、お子さんからおじいちゃんおばあちゃんまで、みんなが元気に暮らせる街として、住みやすく、やさしい街づくりに取り組んでいます。

交通アクセスの利便性の高さから、都内で働く人も多く、都会的な印象をもっている人が多くいます。また、「松戸といえば、人が魅力」といわれることも多く、地域や人とのつながりがあり、地元愛を持つ人も多く、どこか都会とは違った暮らしができると感じている人も多いようです。「都心に近いのに、自然がいっぱい」「都会でもあり田舎でもあり、ちょうどいい」「人があったかい」という市民の声もよく聞かれます。

市内はエリアごとに特色や風土が異なるため、自分たちのライフスタイルに合わせたエリア選びも魅力のひとつとなっており、「松戸は、住んでみたら、とっても暮らしやすくていいところ」と言われる一方で、「松戸の暮らしやすさを知らない人が多い気がする」というように、都心に近い位置にも関わらず、松戸市の知名度は高いわけではありません。

松戸市のことについて、都心で働くまたは住む人に聞いてみると、「知らない」「知ってはいるけど、都心からは遠いイメージ」「松戸と聞いて思い浮かぶものがない」「事件や事故が多い地域」など、「松戸市」のことを知らない人や、間違った認識をしている人、本来の良さに気づいていない人がまだまだ多い、という現状があります。

『まずは、松戸市を知っていただくこと』。

「松戸」という名前を知ってもらうこと、都心に近くて便利な街だと知ってもらうこと。そして、街や人・やさしい街づくりが生み出す魅力や暮らしやすさを、多くの人に知ってもらいたいと思っています。

(市民と一緒に魅力発信)

◎まつどやさしい暮らしラボ

市民参加型のプロジェクトチーム「まつどやさしい暮らしラボ」では、市民のプロジェクトメンバーと松戸市役所が一緒になって、松戸市の魅力や暮らしやすさを「やさしい暮らし」という視点で発信しています。ラボのWEBサイトに記事を書くのは、公募で登録された市民記者のみなさん。キラリと光る個性や視点で一緒に発信しています。

▼まつどやさしい暮らしラボ

<http://matsudo-yasashii-labo.jp/>

ラボでは、WEBやFBなどの情報発信だけでなく、街頭インタビューやイベントなどを行って、松戸市内に住む人たちが暮らしについて考えたり、地域の大切さに気づく場づくりも行っています。松戸市の魅力や暮らしやすさをもっと多くの人に伝えるために、情報マガジン「松戸やさしい暮らしガイド」を作成。これまで、市内だけでなく都内や近隣市の鉄道駅やファミリーレストランなどでも配布を行ってきました。現在は、イベント会場などで配布を行っていますし、公式HPでも公開しています。

▼松戸やさしい暮らしガイド

<http://matsudo-yasashii-labo.jp/theme01/7281.html>

▼まつどシティプロモーションはこちら

http://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/city_promotion/index.html

(交通アクセス)

平成27年3月に上野東京ラインが開業し、ますます交通アクセスが便利になりました。東京駅へは最速24分、大手町駅へは最速29分で、都内へ通勤・通学する市民も多くいます。市内には6路線23駅があり、どのエリアからも利用しやすい環境。平成30年6月には東京外かく環状道路(外環)が開通予定で、市内初のインターチェンジが設置され、車のアクセスもさらに便利になります。

(詳細は、松戸やさしい暮らしガイドをご覧ください。)

(子育て)

特に力を入れている「子育て」では、「共働き子育てしやすい街ランキング2017(日経DUAL調査)」全国編グランプリを受賞しました。保育施設数も多く、平成28年4月と平成29年4月、平成30年4月に3年連続で「待機児童ゼロ」を達成。さらに、駅前や駅ナカ保育園などの増設も進めています。保育施設選びを助けてくれる「利用支援コンシェルジュ」もいます。また、保護者が就労していても、幼稚園での教育が選択できるよう、幼稚園での預かり保育を行うなど、働くママたちが子育てしやすい環境づくりを進めています。

親子で遊べる「おやこの遊び場」が市内に20カ所点在していることもママやパパには好評。全施設に松戸市認定の「子育てコーディネーター」がいて、サポートもしてくれます。市民だけでなく、周辺自治体に住む市外の方も利用のために訪れています。

(詳細は、松戸やさしい暮らしガイドでご覧いただけます。)

(文化)

歴史的には、国の重要文化財に指定されている「戸定邸」があり、徳川家の住まいとして全国で唯一、一般公開されています。平成27年3月には、戸定邸庭園が国の名勝にも指定され、訪れる人が増えています。

アートによる文化活動もさかんです。松戸市は、「日常生活の営みそのものが文化や芸術である」と捉え、「暮らしの芸術都市」として日常の豊かな表現を創造し発信するさまざまな試みを行っています。そのひとつに海外の芸術家を招待し、市民との交流を通じて松戸市でしか出来ない作品を制作する「PARADISE AIR (パラダイスエア)」があり、これまで120組以上の芸術家が市内で多彩な作品を制作・発表しています。この他にも若いアーティストたちが地域と関わりながらさまざまな活動を行っています。

また、公園を活用して、地域・大学・行政が連携し実施しているプロジェクト「アートパーク」は、子どもたちが思いっきりアート体験を楽しめるもので、毎回人気を博しています。

▼まつどの観光・魅力・文化

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/miryoku/kankoumiryokubunka/rekisi-bunka/bunka/index.html>

(教育)

松戸市内すべての小中学校では、松戸市だけのユニークな授業「言語活用科」という、英語分野と日本語分野の2本柱の独自授業を行って、グローバル化に対応する子どもたちの育成をめざしています。平成28年度からは、これまで行っていた5年間英語を9年間英語に拡充、小中一環カリキュラムを充実させました。また、市内の全公立保育所では5歳児を対象にネイティブ講師と一緒に遊ぶ「英語遊び」を実施しています。

市内中学校では吹奏楽もさかんで、全国吹奏楽コンクールなど全国大会に毎年出場。平成29年度は、市内5校の中学校が金賞・最優秀賞を受賞。同時に5校が受賞したのは、全国でも松戸市だけです。

(詳細は、松戸やさしい暮らしガイドでご覧いただけます。)

(オリンピック・パラリンピック)

松戸市は、東京オリンピック・パラリンピックに向け、ルーマニアとドミニカ共和国の2カ国をおもてなしするホストタウンに登録されています。ルーマニアとは陸上、フェンシング、レスリング、卓球、水泳の5種目の事前キャンプを本市で行うことで合意しました。ドミニカがどの種目になるかは夏頃に決まる予定です。

リオ大会に出場した松戸市ゆかりの選手は10人、今後、東京大会をめざす松戸市ゆかりの若手選手にも期待がかかります。

▼松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/Tokyo_2020_Oly_Para/index.html

(医療)

暮らしに必須の医療が充実しているのも特徴のひとつです。「松戸市立総合医療センター」をはじめ、「千葉西病院」「新東京病院」など、病院ランキング等でも上位に入ってくる、高度な医療を提供する病院が揃っています。また市内では総合病院と地域に密着している病院や診療所が密につながることにより、より充実した医療が提供されています。

◎松戸市立総合医療センター／平成29年12月に松戸市立病院は、「松戸市立総合医療センター」と改称し、移転開院しました。千葉県北西部の広域医療圏の高度医療・専門医療の中核をなす病院として、3次救急である「救命救急センター」をもつ他、千葉県東葛北部保健医療圏の地域周産期母子医療センターに認定されており、NICUやGCUを有する新生児科や分娩リスクの高い妊婦さんへの対応が可能な産科を備え、様々な疾患・出産に24時間365日対応していますので、お子さんにとってもママ・パパにとっても心強い存在です。

▼健康医療都市まつど

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/iryoutoshi/index.html>

(お祭り・イベント)

松戸市は、イベントや祭りが多いという市民の声もよく聞かれます。地元の自治会・町会の御輿や神社仏閣のお祭りをはじめ、「松戸まつり」「新松戸まつり」「小金宿まつり」、市内数カ所で開催される「桜まつり」など風物詩ともいえるお祭りはもちろんのこと、「子どもまつり」「子育てフェスタ」「森のこども館」「ドコでもシアター」「大農業まつり」、暮らしの芸術都市の一環として「戸定アートプロジェクト」「アートパーク」「ラストサマーフェス & 盆踊り」などなど、幅広い分野やテーマで、市内各地で数々のイベントが開催されています。最近では、コスプレ関連イベントも多くなってきました。

昨年度、特に注目されたイベントのひとつとして、11月3日～5日の3日間実施された「松戸モリヒロフェスタ&松戸アートピクニック」があります。会場は、21世紀の森と広場。松戸にはおいしいものがあり、子育てにやさしい環境があり、豊かな自然があります。会場では、全国でもトップを争う松戸市内のラーメン店をはじめとするラーメンサミットや、飲食・野菜・花・雑貨を販売するマルシェ、ステージパフォーマンスなどが集う「松戸モリヒロフェスタ」と、自然と交歓する芸術祭「松戸アートピクニック（10/28～11/5開催）」が同時開催された一大イベントでした。今年は21世紀の森と広場が開園25周年にあたり、趣向を凝らした催しの開催が検討されています。

▼おいしいたのしい秋の公園「松戸モリヒロフェスタ&松戸アートピクニック」

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/matumado/h29/morihiro2017.html>

(詳細は、松戸やさしい暮らしガイドをご覧ください。)

(農業)

松戸市は、農業も盛んで、農薬の使用を極力少なくする、環境にやさしい農業に取り組んでいます。「二十世紀梨」の発祥の地として知られ、市内には50以上の観光梨園があります。また、全国有数のねぎの生産地でもあり、太くて甘い「矢切ねぎ」や香りと食感が特徴の「あじさいねぎ」など質の高い農作物が収穫されています。

(詳細は、松戸やさしい暮らしガイドをご覧ください。)

(企業)

松戸市には、世界や日本のトップクラス企業も本社を置いています。小型直流モーターの世界No.1ブランドである「マブチモーター株式会社」や全国的にも有名なドラッグストアチェーン「株式会社マツモトキョシ」、また白玉粉売上日本一の「玉三白玉粉」で有名な「川光物産株式会社」や信号機や電線などに使われる架線金物のシェア日本一を誇る「イワブチ株式会社」などがあります。

企業誘致にも力を入れており、バレンタインデーを広く日本に定着させたことで評価されている「株式会社メリーチョコレートカンパニー」やゴルフクラブやゴルフ用品で有名な「株式会社マルマン」の工場などがあります。

(その他参考)

▼まつどの魅力

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/miryoku/index.html>

▼松戸市へようこそ！引越し（転入）をお考えのファミリーへ

http://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/city_promotion/hikkosifamily.html

▼三世代同居等住宅支援～子育て世帯の住宅取得を応援します～

平成28年度からスタート。松戸市内に住む親世帯との近居や同居をするために、松戸市内で住宅を取得する際の費用の一部＝最大100万円（近居50万円 同居75万円 市外からの転入は25万円を加算）を補助します。

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/sumai/tatemono_jyosei/3_sedaijuutaku.html